

○議案第 81 号 平成 25 年度加西市一般会計補正予算（第 4 号）について

- ・災害対策費（老朽化した兵庫衛星通信ネットワーク設備を更新するための負担金）
- ・社会福祉総務費（国民健康保険特別会計の収支不足を補填するための同会計への法定外繰出金等）
- ・障害者福祉費（障害サービス費の増加に対応するための介護訓練等給付費）
- ・健康福祉会館費（健康福祉会館の雨漏りに対応するための修繕料）
- ・児童福祉総務費（安心こども基金を活用し、子供・子育て支援新制度に係る電子システム対応作業を行うもの）
- ・児童措置費（民間事業者の病児病後児保育施設整備に当たり、事業費の一部を補助するもの）
- ・児童福祉施設費（泉第三保育所裏山からの出水対策を行うための工事請負費）
- ・扶助費（生活保護に係る入院患者及び高額手術の増加に対応するための医療扶助費）
- ・母子衛生費（特定不妊治療費及び未熟児養育医療給付費に係る申請の増加に対応するもの）
- ・環境保全対策費（住宅用太陽光発電システム設置補助申請の増加に対応するもの）
- ・塵芥処理費（ごみ処理広域連携に伴い、小野クリーンセンターへのごみ搬送車輛を購入するもの）
- ・農業振興費（国庫補助を活用した農地集積協力金、青年就農給付金等）
- ・農業施設災害復旧費（8月から9月の豪雨による農地・農業施設の災害に係る復旧を行うもの）

委員会審議

建設経済厚生委員会

○加西市水道事業給水条例の一部改正（議案第76号） 及び、水道事業会計補正予算（議案第83号）

（主な審議内容）

問 平成30年以降については赤字が出るとの説明だが、水道料金を一時的に値下げしても、またこの先で値上げすることになったり、赤字がかさむようなことがあってはならない。その対策として受水費を下げるのが重要であるが、その意気込みや決意は。

答 水道事業は、企業会計の理念に基づき、平成30年までは値下げを行います。その後の見通しは立っていません。しかし、県水は平成23年4月から大きく引き下げられており、今後も平成28年4月から見直しが行われるであろうとのこと。また、県へは折に触れて引き下げの要望をしており、前向きな感触も得ています。これらのことから、現時点において持続可能性を判断し、引き続き平成30年以後も同料金を提供できるという確信のもとでやっております。

問 値下げの財源について、平成30年までは利益剰余金を充当し、以降は下水道会計への貸付金を使うことで水道料金を持続できないか。

答 水道事業会計の運営において、将来の投資に対する積み立てであるため、手をつけるべきではないと考えております。

（議決結果）

賛成5、反対1で可決（議案第76号及び議案第83号）

○加西市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正（議案第 77 号）及び、小野加東環境施設事務組合への加入について（議案第 80 号）

（主な審議内容）

問 ごみ袋の値下げは、広域化するからこそ可能なのか。

答 小野加東との連携による効果額が見出せるための値下げです。

問 加西のクリーンセンターは、今すぐに大規模改修が必要なほど危険な状態なのか。

答 加西市の焼却炉は、本来であれば16時間で31トン焼却できるが、現在は24時間運転で約30トン程度しか焼却ができないほど機能低下しています。日々の持ち込み量は約40トンであり、1炉の焼却能力では間に合わず、2炉の運転を余儀なくされています。仮に故障となれば、ごみ処理ができなくなるため、早急に大規模改修をする必要があります。

問 長寿命化工事で10年から15年保たせることはできないのか。

答 長寿命化工事はあくまで15年間で修繕を行っていく計画であり、これとは別に、見えない部分での高額な補修が必要となることから、大規模改修をするよりも結果多くの費用がかかることとなります。